

“紙”を使う印刷会社として環境性能を追求し 持続可能な社会に貢献



開発製品と試作の様子

事業 概要

平成30年度
補正

非プラスチック系コーティングの 耐水性能を有した環境対応印刷物の開発

耐水・耐久性の高いライメックス等の環境紙への印刷技術を確認し、さらに非プラスチック系の加工を施すことで、従来の印刷物に比べ大幅な環境性能の高い印刷製品開発に取り組み、第一弾の製品として洗えるメニューの試作に成功した。この製品はSDGsの環境目標および、各種ターゲットに対応しているため、印刷物に該当ターゲットの記載が可能となっている。

印刷業界で他社に先駆けて環境への取り組みを重視

自然環境に悪影響を与えられがちな印刷業、そのイメージを払拭したいと考え、2010年にいち早く「水なし印刷」を導入しました。再生紙同様にグリーン購入法適合製品とされる「水なし印刷」の導入を皮切りに、CSRの一環としてISO14001の取得、環境に配慮した製品

の開発、全車両ハイブリッドの営業車の導入、SDGsに沿った取り組みを行なってきました。また環境系の展示会などにも積極的に参加してきたことで、東北・宮城でも積極的に環境問題に取り組んできた印刷会社として知られています。



水なし印刷を導入し、
環境に配慮した製品の開発に取り組んできた

プラスチック素材を従来より減らすことで 環境性の高い製品を提供する

印刷物に耐水性を持たせる場合、表面に薄いプラスチックフィルムを貼るPP加工やラミネートフィルムで挟み込むラミネート加工などがあります。紙はリサイクル可能なのに、これらの加工を施すとプラスチック扱いになってしまいます。そこでPPに代わり、よりプラスチック成分の少ないUV液ラミネーターを導入しました。これにより表面加工後の印刷物のリサイクルが可能となり、さらにライメックスという石灰を主原料とする国産合成紙を使用し、普通紙+PP加工と同等以上の耐水性・撥水性を実現しました。ライメックスペーパーはパルプ紙と比べ製造の際にほとんど水を使わない、環境性能の高い製品ですが、従来の印刷やプリンターではインクの定着が悪かったため、定着性の高い製品に仕上げるためにUVインクジェットプリンターを導入しました。



新設したクリーンルームにより環境性に衛生性をプラス



UVインクジェットプリンター



レーザー加工機



UV液ラミネーター

汚れても洗えるメニューを提案 紙の製品寿命を伸ばすことで環境に貢献

印刷物は短期間で廃棄される場合が多いですが、製品寿命を長くすれば環境性に繋がります。今回導入した機器を使用した第一弾の製品として、汚れても水洗いの上何度でも使用できる飲食店のメニューを提案・受注しており、さらにこの性能を活かした製品を開発中です。またこれからは環境同様に衛生面も重視し、SIAAの承認を受けた抗菌・抗ウイルスのコーティング加工や新工場内に設備されたクリーンルームでのアッセンブリも可能となりました。コスト競争になりがちな印刷業界ですが、設備を導入したことで、他社との差別化と環境保全に取り組む会社としてのブランディングを図っていきます。印刷物は一つひとつがオーダーメイド。これからの社会が求める環境性や衛生性の高い製品をお客様にご提案し、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

会社の強みは何ですか？



印刷の基本は「情報を届ける」こと。紙の印刷物だけでなく、ホームページの制作や動画などのデジタルコンテンツなど、多様な商品ラインナップでアイデアをご提案し、お客様のニーズに応えられることです。

製品化する上で大変だったことはありますか？



1つ出来ればみんなで使える工業製品と違い印刷物は受注産業。これまでにない製品なので、単に印刷だけでなく形などの仕様を詰めて、一つひとつ製品化して納品していくこと。「これでよし」ということはありません。



株式会社ホクトコーポレーション
専務取締役 及川 文智 氏